

2022年1月24日

組合員・関係者各位

広島県酪農業協同組合

当組合職員の新型コロナウイルスの罹患について

去る1月21日（金）、当組合生産振興課三次クーラーステーション「以下「CS」という。」に勤務する職員1名が、新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。

CSでは、新型コロナウイルスの感染対策として、手洗い、うがい、マスク・ゴム手袋の着用、CS施設内への出入制限、最少人数での業務体制など、組合員および関係者、役職員の健康と安全を最優先に考え、関連業者等と連携して、感染拡大防止に努めて参りました。

残念ながら今回、感染が確認されましたものの、保健所による行動歴等の追跡調査の結果、業務中での濃厚接触者は認められず、該当者も1月17日（月）から自宅待機によって療養中であります。

なお、CSにおいては日々の消毒作業に加えて、接触可能性の高い箇所や施設を重点的に消毒し、業務停滞を避けた通常業務を継続しております。

現在、広島県は、まん延防止等重点措置の適用地域に指定されており、県内各地で感染者が急増傾向にあります。県からは県民・事業者への外出半減の取組推進等が要請されており、可能な限りでの農家巡回等の人流行動の抑制を模索しております。

組合員及び関係者の皆様には、誠にご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

また、皆様におかれましても引き続き、手洗い・消毒、マスクの着用など基本的感染予防をお願い致します。